

利用上の注意

この報告書は、経済産業省生産動態統計調査及び神奈川県工業生産統計調査等の結果に基づき、平成17年の工業生産指数を集録したものです。

1 工業生産指数

工業生産指数とは、経済産業省及び本県の指定する品目の、毎月末現在における生産・出荷及び在庫の数量等を把握し、工業生産活動の推移を指数化して示したものです。なお、国機関等との指数比較をする際には「製造工業指数」と表記しています。

2 原指数と季節調整済指数

原指数は、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用し、季節調整済指数は、月々の動向や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用しています。

このため、本文中で使用している前年（末）比は原指数を、前期（末）比は季節調整済指数を用いて算出しています。

なお、生産・出荷・在庫率指数は12か月を平均した指数、四半期別の指数は3か月を平均した指数であり、在庫指数は年末・期末の指数です。

3 その他

(1) 本書で使用している略称、記号等

「生産指数」、「生産者出荷指数」、「生産者製品在庫指数」、「生産者製品在庫率指数」をそれぞれ「生産（指数）」、「出荷（指数）」、「在庫（指数）」、「在庫率（指数）」と略記しています。また、指数の伸び率は原則として「上昇」、「低下」を用いますが、品目別の指数については「増加」、「減少」を用いており、一部で「増加」を「増」、「減少」を「減」と略記しています。

なお、「年」とあるものは暦年間（1～12月）を示し、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「1～3月期（末）」、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「4～6月期（末）」、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「7～9月期（末）」、「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」は「10～12月期（末）」を表しています。

グラフ、表中における記号の用法は以下のとおりです。

「-」…該当がないもの 「 $\frac{\quad}{\quad}$ 」…マイナス（比較減）

「X」…数値が秘匿されているもの

(2) 業種分類、採用品目数等

巻末の「神奈川県工業生産指数について」を参照してください。

神奈川県工業生産の動向

1 概要 - 生産指数は前年比 0.2%と2年ぶりに低下 -

(1) 生産の動向

生産指数(原指数)は、92.7で前年比0.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比1.9%上昇し2期ぶりに上昇、3期は同0.9%低下、4期も同1.8%低下、5期も同1.1%低下しました。

<全国及び局管内の動き>

全国の製造工業指数(原指数)は、101.3で前年比1.1%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比1.4%上昇し3期ぶりに上昇、2期は同0.1%低下、3期も同0.5%低下、4期は同2.7%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数(原指数)は、95.9で前年比0.4%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比1.8%上昇し2期ぶりに上昇、2期も同0.1%上昇、3期は同0.5%低下、4期は同2.1%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数(原指数)は、93.0で前年比0.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比4.4%上昇し2期ぶりに上昇、2期は同2.7%低下、3期も同2.8%低下、4期も同2.1%低下しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数(原指数)は、80.3で前年末比6.4%上昇し、8年ぶりに上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期末比3.2%低下し2期連続して低下、2期は同4.3%上昇、3期も同2.8%上昇、4期も同0.6%上昇しました。

年間の動き

以上のように、生産・出荷指数(季節調整済指数)は、1期を除いて各期とも低下しました。在庫指数(同)は、1期を除いて各期とも上昇しました。

また、生産・出荷指数(原指数)の前年同期比では1期、2期が上昇し3期、4期が低下しました。在庫指数(同)の前年同期末比では1期を除いて各期とも上昇しました。

県内の工業生産は2年ぶりに低下し、電気機械工業や一般機械工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産は17年1期、2期は堅調に推移したものの、3期、4期は低下に転じました。

(P2図1・表1、P5表3、P6表4 参照)

(指数)

図1 製造工業指数の四半期別推移

(平成12年 = 100 季節調整済指数)

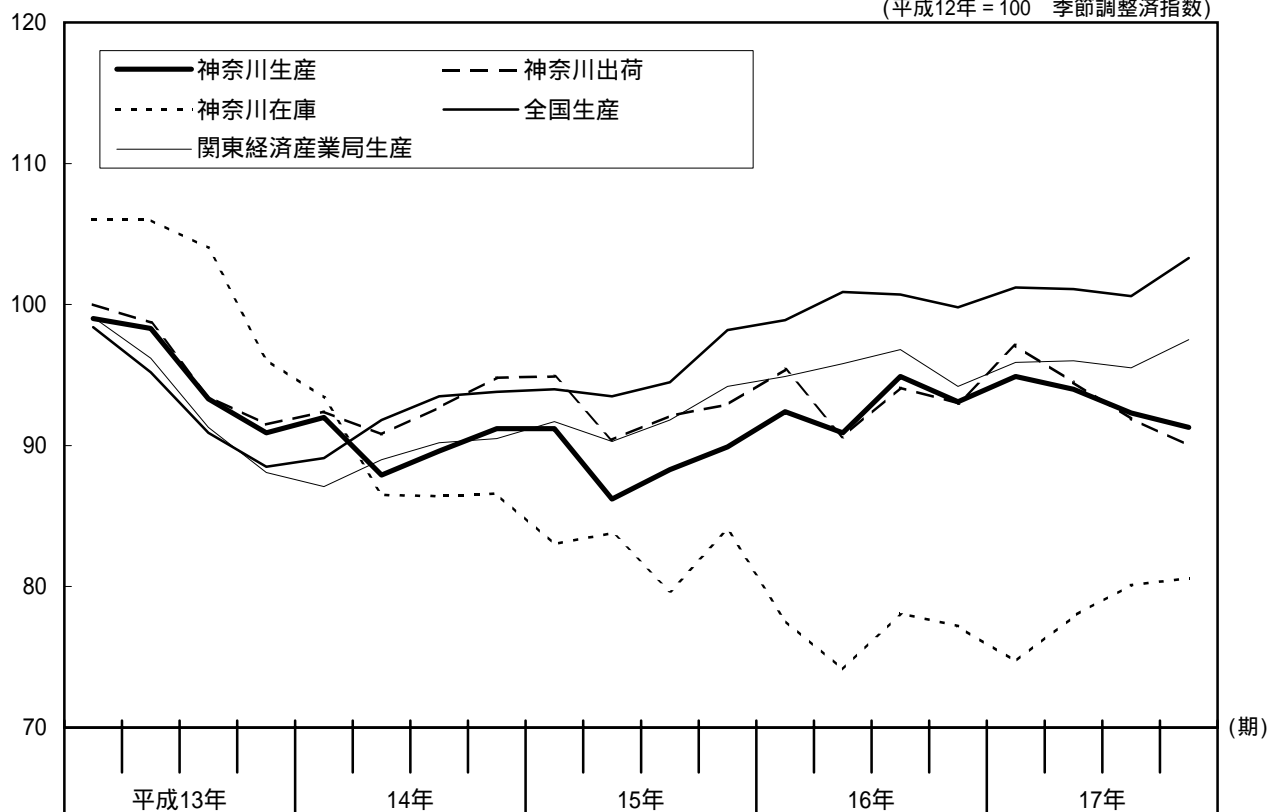


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(平成12年 = 100)

		平成13年	14年	15年	16年	17年	17年			
神奈川県	指数	95.3	90.3	88.9	92.9	92.7	94.9	94.0	92.3	91.3
	生産									
	対前年(期)増減率%	4.7	5.2	1.6	4.5	0.2	1.9	0.9	1.8	1.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	2.7	3.4	2.7	1.9
出荷	指数	95.9	92.7	92.6	93.3	93.0	97.1	94.5	91.9	90.0
	対前年(期)増減率%	4.1	3.3	0.1	0.8	0.3	4.4	2.7	2.8	2.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	1.8	4.3	2.3	3.2
在庫	指数	92.8	83.3	81.3	75.5	80.3	74.7	77.9	80.1	80.6
	対前年(期)増減率%	2.0	10.2	2.4	7.1	6.4	3.2	4.3	2.8	0.6
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	3.7	5.1	2.6	4.4
全国	指数	93.2	92.0	95.0	100.2	101.3	101.2	101.1	100.6	103.3
	生産									
	対前年(期)増減率%	6.8	1.3	3.3	5.5	1.1	1.4	0.1	0.5	2.7
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	2.3	0.2	0.1	3.5
関東経済産業局管内	指数	93.6	89.2	91.9	95.5	95.9	95.9	96.0	95.5	97.5
	生産									
	対前年(期)増減率%	6.4	4.7	3.0	3.9	0.4	1.8	0.1	0.5	2.1
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	1.1	0.2	1.3	3.5

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数

* 関東経済産業局管内：栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、新潟県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、電気測定器や超音波応用装置などが減少した電気機械工業（前年比 17.8%低下）や、印刷機械などが減少した一般機械工業（同 4.5%低下）など 10 業種が低下しました。

また、医薬品などが増加した化学工業（前年比 5.3%上昇）など 8 業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、電気測定器や超音波応用装置などが減少した電気機械工業（前年比 18.2%低下）や、入出力装置などが減少した情報通信機械工業（同 9.1%低下）など 12 業種が低下しました。

また、小型乗用車などが増加した輸送機械工業（前年比 7.5%上昇）など 6 業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、小型トラックや普通トラックが増加した輸送機械工業（前年末比 25.7%上昇）やはん用内燃機関などが増加した一般機械工業（同 15.2%上昇）など 8 業種が上昇しました。

また、混合植物油などが減少した食料品・飲料工業（前年末比 7.6%低下）など 10 業種が低下しました。

（P3 図2、P4 表2、P5 表3 参照）

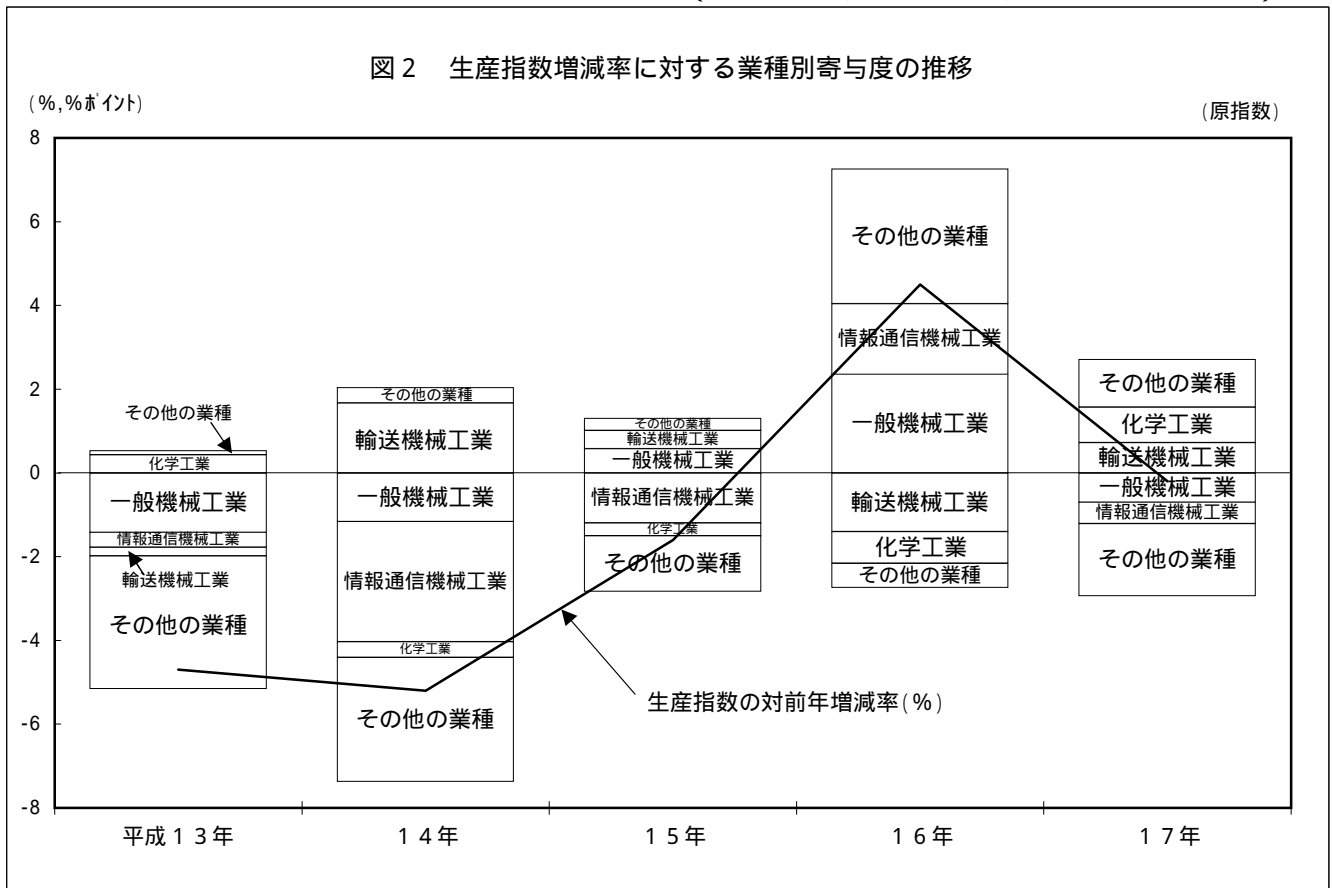


表2 工業生産指数の上昇又は低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 92.7 対前年増減率 0.2% 上昇8業種、低下10業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	化学工業	5.3	0.85	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など
				減	白黒フィルム、カラー印画紙、柔軟仕上げ剤など
	輸送機械工業	4.4	0.72	増	小型乗用車、特装ボデー、ショベルトラックなど
				減	懸架制動装置部品、普通乗用車、自動車機関部品など
電子部品・デバイス工業	5.7	0.38	増	モス型半導体集積回路(CCD)、モス型半導体集積回路(論理素子)、コネクタなど	
			減	光電変換素子、プリント配線板、混成集積回路など	
非鉄金属工業	23.6	0.37	増	光ファイバ、銅電線、電力用電線・ケーブル	
			減	通信用電線・ケーブル、軽合金鋳物、ダイカストなど	
低 下	電気機械工業	17.8	0.92	増	開閉制御装置、電気溶接機、工業用計測制御機器など
				減	電気測定器、超音波応用装置、非標準変圧器など
低 下	一般機械工業	4.5	0.70	増	超硬工具、圧延機械、蒸気タービン部品など
				減	印刷機械、デジタル・カラー複写機、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
低 下	情報通信機械工業	4.8	0.51	増	外部記憶装置、ミッドレンジコンピュータ、固定通信装置など
				減	入出力装置、パーソナルコンピュータ、はん用コンピュータなど

(2) 出荷 年指数 93.0 対前年増減率 0.3% 上昇6業種、低下12業種

業種		対前年増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	輸送機械工業	7.5	1.74	増	小型乗用車、特装ボデー、鋼船など
				減	普通乗用車、懸架制動装置部品、自動車機関部品など
上 昇	化学工業	6.0	0.67	増	医薬品、化粧品、エチレングリコールエーテルなど
				減	カラー印画紙、白黒フィルム、合成樹脂塗料など
上 昇	食料品・飲料工業	3.6	0.35	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、グルタミン酸ソーダ、牛乳など
				減	生めん類、炭酸飲料、チョコレートなど
低 下	電気機械工業	18.2	1.03	増	開閉制御装置、マンガン乾電池、電気溶接機など
				減	電気測定器、超音波応用装置、非標準変圧器など
低 下	情報通信機械工業	9.1	0.85	増	外部記憶装置、ミッドレンジコンピュータ、固定通信装置など
				減	入出力装置、パーソナルコンピュータ、はん用コンピュータなど
低 下	一般機械工業	4.4	0.63	増	超硬工具、蒸気タービン部品、圧延機械など
				減	デジタル・カラー複写機、印刷機械、フラットパネル・ディスプレイ製造装置など
低 下	電子部品・デバイス工業	6.9	0.33	増	コネクタ、磁気テープ、光電変換素子
				減	モス型半導体集積回路(論理素子)、モス型半導体集積回路(記憶素子)、線形半導体集積回路など

(3) 在庫 年指数 80.3 対前年末増減率 6.4% 上昇8業種、低下10業種

業種		対前年末増減率(%)	寄与度(ポイント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上 昇	輸送機械工業	25.7	3.56	増	小型トラック、普通トラック
				減	自転車、けん引車、大型バスなど
上 昇	一般機械工業	15.2	2.69	増	はん用内燃機関、掘さく機械、マシニングセンタなど
				減	超硬工具、ポンプ、軸受など
上 昇	化学工業	8.9	1.60	増	合成ゴム、合成洗剤、ポリエチレンなど
				減	白黒フィルム、触媒、パラキシレンなど
上 昇	電気機械工業	9.3	0.75	増	鉛蓄電池、一般用白熱灯器具、蛍光灯器具など
				減	電気冷蔵庫、アルカリ蓄電池、高圧放電灯器具
低 下	食料品・飲料工業	7.6	0.57	増	炭酸飲料、練乳・粉乳、チョコレートなど
				減	混合植物油脂、小麦粉、精製糖など
低 下	石油・石炭製品工業	10.2	0.55	増	C重油、コークス、潤滑油など
				減	灯油、ガソリン、A重油など
低 下	情報通信機械工業	9.2	0.52	増	ビデオカメラ、ビデオテープレコーダ
				減	液晶テレビ、コードレスホン

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(平成12年 = 100 原指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		14年	15年	16年	17年	14年	15年	16年	17年	14年	15年	16年	17年	14年	15年	16年	17年
製 造 工 業	指 数	90.3	88.9	92.9	92.7	92.7	92.6	93.3	93.0	83.3	81.3	75.5	80.3	101.3	93.3	106.7	106.1
	対前年増減率%	5.2	1.6	4.5	0.2	3.3	0.1	0.8	0.3	10.2	2.4	7.1	6.4	12.8	7.9	14.4	0.6
鉄 鋼 業	指 数	99.5	99.5	107.4	107.1	102.0	103.1	112.0	108.3	87.6	89.9	100.9	111.3	93.8	92.7	91.5	102.8
	対前年増減率%	0.1	0.0	7.9	0.3	0.3	1.1	8.6	3.3	12.8	2.6	12.2	10.3	7.4	1.2	1.3	12.3
非鉄金属 工業	指 数	79.4	77.1	81.3	100.5	75.0	73.1	77.5	82.3	61.9	62.7	74.4	64.0	98.5	83.4	83.2	103.8
	対前年増減率%	22.6	2.9	5.4	23.6	22.4	2.5	6.0	6.2	25.5	1.3	18.7	14.0	15.8	15.3	0.2	24.8
金属製品 工業	指 数	74.9	73.1	78.6	72.5	67.4	70.6	73.3	65.8	54.5	49.6	45.1	37.8	72.3	58.2	56.3	59.0
	対前年増減率%	15.7	2.4	7.5	7.8	11.8	4.7	3.8	10.2	17.8	9.0	9.1	16.2	11.1	19.5	3.3	4.8
一般機械 工業	指 数	82.6	86.2	100.6	96.1	81.4	87.2	101.6	97.1	91.9	85.7	85.7	98.7	108.1	95.7	70.8	72.5
	対前年増減率%	8.4	4.4	16.7	4.5	12.1	7.1	16.5	4.4	4.0	6.7	0.0	15.2	9.2	11.5	26.0	2.4
電気機械 工業	指 数	84.7	82.6	88.0	72.3	82.4	80.5	79.0	64.6	86.9	77.6	63.5	69.4	104.9	105.5	218.2	208.1
	対前年増減率%	13.7	2.5	6.5	17.8	14.3	2.3	1.9	18.2	3.2	10.7	18.2	9.3	5.5	0.6	106.8	4.6
情報通信 機械工業	指 数	75.2	66.5	78.5	74.7	71.4	65.3	74.4	67.6	102.3	114.3	47.9	43.5	125.3	139.0	219.2	197.1
	対前年増減率%	22.6	11.6	18.0	4.8	24.8	8.5	13.9	9.1	3.6	11.7	58.1	9.2	21.3	10.9	57.7	10.1
電子部品・ デバイス工業	指 数	65.3	64.5	87.4	92.4	80.7	77.5	82.9	77.2	36.7	23.5	30.3	30.6	62.2	33.1	31.8	48.8
	対前年増減率%	10.9	1.2	35.5	5.7	10.4	4.0	7.0	6.9	38.7	36.0	28.9	1.0	46.9	46.8	3.9	53.5
輸送機械 工業	指 数	109.6	112.3	103.7	108.3	118.7	120.1	108.9	117.1	74.3	82.1	101.2	127.2	74.2	61.7	65.1	79.7
	対前年増減率%	11.2	2.5	7.7	4.4	14.9	1.2	9.3	7.5	15.1	10.5	23.3	25.7	27.3	16.8	5.5	22.4
精密機械 工業	指 数	101.7	107.1	106.8	96.0	115.2	116.5	115.0	121.5	83.1	26.3	27.4	25.0	88.1	34.3	25.0	22.4
	対前年増減率%	5.0	5.3	0.3	10.1	13.8	1.1	1.3	5.7	33.3	68.4	4.2	8.8	28.0	61.1	27.1	10.4
窯業・土石 製品工業	指 数	91.9	87.8	81.2	77.5	93.9	87.9	82.2	79.2	75.1	72.6	52.4	50.5	85.8	83.8	84.0	63.4
	対前年増減率%	1.8	4.5	7.5	4.6	3.7	6.4	6.5	3.6	17.8	3.3	27.8	3.6	19.8	2.3	0.2	24.5
化学工業	指 数	100.4	98.7	94.4	99.4	99.8	98.1	94.9	100.6	101.7	100.9	96.4	105.0	123.0	119.7	119.7	117.6
	対前年増減率%	2.2	1.7	4.4	5.3	1.4	1.7	3.3	6.0	7.6	0.8	4.5	8.9	3.6	2.7	0.0	1.8
石油・石炭 製品工業	指 数	99.4	105.2	100.1	103.7	85.5	89.2	86.0	89.3	84.5	127.6	118.8	106.7	111.8	128.5	133.3	117.7
	対前年増減率%	2.7	5.8	4.8	3.6	8.9	4.3	3.6	3.8	1.5	51.0	6.9	10.2	10.1	14.9	3.7	11.7
プラスチック 製品工業	指 数	91.8	92.6	83.9	77.9	94.7	95.3	87.5	81.2	87.8	84.8	66.8	61.3	98.6	93.8	85.1	84.5
	対前年増減率%	2.2	0.9	9.4	7.2	1.1	0.6	8.2	7.2	11.3	3.4	21.2	8.2	8.7	4.9	9.3	0.7
紙・紙加工 工業	指 数	88.2	87.7	93.8	94.1	86.2	85.8	91.1	89.1	76.1	53.4	80.7	82.0	116.9	88.9	79.0	97.8
	対前年増減率%	4.3	0.6	7.0	0.3	8.7	0.5	6.2	2.2	8.1	29.8	51.1	1.6	1.5	24.0	11.1	23.8
繊維工業	指 数	79.7	76.6	72.5	71.9	79.6	70.0	68.9	66.4	58.2	122.8	122.3	116.6	103.6	156.3	158.3	133.2
	対前年増減率%	19.6	3.9	5.4	0.8	18.5	12.1	1.6	3.6	44.3	111.0	0.4	4.7	21.5	50.9	1.3	15.9
食料品・ 飲料工業	指 数	102.1	94.2	97.1	100.0	101.4	97.6	99.5	103.1	99.4	86.0	93.2	86.1	125.4	108.5	104.2	97.8
	対前年増減率%	3.1	7.7	3.1	3.0	2.8	3.7	1.9	3.6	7.4	13.5	8.4	7.6	5.2	13.5	4.0	6.1
その他工業	指 数	91.4	97.0	102.4	102.9	93.4	99.1	103.4	99.9	100.7	83.0	75.3	72.5	112.2	95.6	78.7	79.4
	対前年増減率%	5.5	6.1	5.6	0.5	3.0	6.1	4.3	3.4	3.1	17.6	9.3	3.7	2.4	14.8	17.7	0.9
ゴム製品 工業	指 数	98.8	103.7	105.0	107.5	100.1	104.3	104.7	102.1	114.8	97.9	105.9	100.2	122.2	107.2	100.1	111.5
	対前年増減率%	1.9	5.0	1.3	2.4	1.8	4.2	0.4	2.5	7.1	14.7	8.2	5.4	1.3	12.3	6.6	11.4
家具工業	指 数	76.0	83.2	96.9	93.5	76.4	85.7	100.2	94.2	82.1	63.4	35.2	36.0	99.2	80.4	50.6	37.2
	対前年増減率%	14.1	9.5	16.5	3.5	16.3	12.2	16.9	6.0	5.3	22.8	44.5	2.3	7.9	19.0	37.1	26.5
公 益 事 業	指 数	102.3	124.2	110.8	114.0	100.2	102.3	104.8	107.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	2.1	21.4	10.8	2.9	0.1	2.1	2.4	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	86.5	86.0	93.6	91.6	92.8	92.8	94.5	92.8	79.4	75.5	67.2	76.0	95.3	85.1	110.6	111.4
	対前年増減率%	6.7	0.6	8.8	2.1	2.8	0.0	1.8	1.8	10.0	4.9	11.0	13.1	21.1	10.7	30.0	0.7

*生産・出荷・在庫率は年平均(年平均比)、在庫は年末(年末比)

*公益事業、機械工業は参考系列(P85 業種分類参照)

表 4

平成17年業種別四半期指数・対前期増減率

(平成12年=100 季節調整済指数)

業 種	項 目	生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
製 造 工 業	指 数	94.9	94.0	92.3	91.3	97.1	94.5	91.9	90.0	74.7	77.9	80.1	80.6	113.3	108.1	98.0	103.2
	対前期増減率%	1.9	0.9	1.8	1.1	4.4	2.7	2.8	2.1	3.2	4.3	2.8	0.6	0.9	4.6	9.3	5.3
鉄 鋼 業	指 数	108.4	114.6	105.5	101.4	112.1	115.2	107.8	100.3	105.9	109.6	112.8	113.9	92.2	101.6	106.6	110.3
	対前期増減率%	2.3	5.7	7.9	3.9	3.9	2.8	6.4	7.0	1.8	3.5	2.9	1.0	0.5	10.2	4.9	3.5
非鉄金属 工業	指 数	94.0	112.8	104.8	92.2	80.1	89.4	84.7	76.1	61.5	59.9	63.1	59.3	123.8	100.9	98.6	89.1
	対前期増減率%	2.6	20.0	7.1	12.0	0.5	11.6	5.3	10.2	13.6	2.6	5.3	6.0	18.1	18.5	2.3	9.6
金属製品 工業	指 数	70.0	71.4	75.9	74.3	65.1	65.1	68.2	65.7	42.9	41.8	39.6	38.1	59.4	60.8	57.9	58.4
	対前期増減率%	14.7	2.0	6.3	2.1	13.1	0.0	4.8	3.7	6.5	2.6	5.3	3.8	6.6	2.4	4.8	0.9
一般機械 工業	指 数	101.4	97.2	95.1	92.2	102.2	96.9	95.7	94.2	75.5	95.3	93.9	94.0	65.9	78.3	72.5	72.0
	対前期増減率%	2.4	4.1	2.2	3.0	2.5	5.2	1.2	1.6	7.8	26.2	1.5	0.1	1.7	18.8	7.4	0.7
電気機械 工業	指 数	79.1	74.1	66.9	70.7	71.2	66.5	60.6	62.0	68.9	74.9	72.6	68.3	244.8	221.8	164.1	186.6
	対前期増減率%	3.9	6.3	9.7	5.7	6.7	6.6	8.9	2.3	10.6	8.7	3.1	5.9	23.3	9.4	26.0	13.7
情報通信 機械工業	指 数	83.4	76.1	75.6	69.9	76.6	66.6	70.1	62.2	50.3	49.6	55.9	53.8	253.6	193.2	148.6	184.1
	対前期増減率%	6.6	8.8	0.7	7.5	3.1	13.1	5.3	11.3	12.4	1.4	12.7	3.8	39.6	23.8	23.1	23.9
電子部品・ デバイス工業	指 数	95.5	89.1	88.3	98.0	77.7	70.7	79.1	81.6	29.2	32.3	34.0	31.0	44.4	53.0	49.8	47.6
	対前期増減率%	4.7	6.7	0.9	11.0	4.3	9.0	11.9	3.2	3.3	10.6	5.3	8.8	25.4	19.4	6.0	4.4
輸送機械 工業	指 数	115.3	112.2	104.1	103.6	129.7	123.3	110.0	106.3	97.6	80.2	92.7	105.1	84.6	73.0	81.1	84.8
	対前期増減率%	17.1	2.7	7.2	0.5	25.9	4.9	10.8	3.4	11.8	17.8	15.6	13.4	11.3	13.7	11.1	4.6
精密機械 工業	指 数	95.7	97.1	97.3	96.9	111.4	127.9	123.4	128.8	22.0	26.1	24.7	23.4	22.7	21.1	23.9	21.9
	対前期増減率%	12.7	1.5	0.2	0.4	4.7	14.8	3.5	4.4	13.7	18.6	5.4	5.3	10.3	7.0	13.3	8.4
窯業・土石 製品工業	指 数	80.0	77.6	76.5	76.7	81.0	78.2	79.1	79.9	52.8	55.3	54.3	51.6	59.1	62.7	66.1	66.3
	対前期増減率%	5.0	3.0	1.4	0.3	2.3	3.5	1.2	1.0	0.8	4.7	1.8	5.0	13.5	6.1	5.4	0.3
化学工業	指 数	96.7	100.8	103.5	98.2	98.4	101.2	104.5	99.7	106.1	104.9	111.3	111.7	116.9	113.1	117.2	124.9
	対前期増減率%	2.8	4.2	2.7	5.1	3.6	2.8	3.3	4.6	4.1	1.1	6.1	0.4	1.6	3.3	3.6	6.6
石油・石炭 製品工業	指 数	101.7	107.6	103.6	103.2	87.2	91.2	90.4	89.6	103.6	111.4	113.7	107.9	118.8	114.0	119.4	118.1
	対前期増減率%	1.5	5.8	3.7	0.4	1.0	4.6	0.9	0.9	19.8	7.5	2.1	5.1	11.8	4.0	4.7	1.1
プラスチック 製品工業	指 数	82.5	75.7	77.0	77.9	84.7	80.8	80.2	80.5	75.5	61.2	61.1	62.4	87.9	85.3	79.5	85.2
	対前期増減率%	1.1	8.2	1.7	1.2	1.2	4.6	0.7	0.4	12.9	18.9	0.2	2.1	8.0	3.0	6.8	7.2
紙・紙加工品 工業	指 数	92.3	94.2	93.9	96.8	91.8	86.3	85.0	93.0	80.3	89.4	98.7	91.2	90.6	93.9	114.4	90.6
	対前期増減率%	4.2	2.1	0.3	3.1	3.4	6.0	1.5	9.4	13.2	11.3	10.4	7.6	1.0	3.6	21.8	20.8
繊維工業	指 数	73.5	66.6	69.7	78.8	73.1	58.6	60.4	74.1	71.4	92.0	110.6	87.7	100.3	170.0	175.6	102.0
	対前期増減率%	0.8	9.4	4.7	13.1	15.8	19.8	3.1	22.7	33.0	28.9	20.2	20.7	45.6	69.5	3.3	41.9
食料品・ 飲料工業	指 数	95.8	98.3	103.3	101.9	98.5	101.1	105.5	106.5	99.7	109.5	112.6	97.7	91.5	104.9	99.7	96.1
	対前期増減率%	3.7	2.6	5.1	1.4	2.8	2.6	4.4	0.9	4.5	9.8	2.8	13.2	6.0	14.6	5.0	3.6
その他工業	指 数	110.6	101.0	100.9	99.1	111.1	96.4	97.3	94.7	77.5	74.1	70.4	72.3	78.3	81.4	76.3	81.6
	対前期増減率%	1.6	8.7	0.1	1.8	1.1	13.2	0.9	2.7	2.8	4.4	5.0	2.7	1.3	4.0	6.3	6.9
ゴム製品 工業	指 数	114.5	103.6	106.1	106.4	113.2	98.0	99.3	97.9	113.8	106.8	100.1	102.9	112.2	117.2	107.2	109.2
	対前期増減率%	3.3	9.5	2.4	0.3	5.3	13.4	1.3	1.4	4.9	6.2	6.3	2.8	5.8	4.5	8.5	1.9
家具工業	指 数	103.0	91.8	90.3	87.4	104.9	91.7	92.3	88.2	29.4	32.2	31.6	32.9	32.3	36.9	36.3	41.9
	対前期増減率%	10.4	10.9	1.6	3.2	10.3	12.6	0.7	4.4	11.4	9.5	1.9	4.1	9.8	14.2	1.6	15.4
公 益 事 業	指 数	114.7	115.9	112.0	114.3	108.3	107.5	107.3	107.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	11.1	1.0	3.4	2.1	3.7	0.7	0.2	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
機 械 工 業	指 数	97.4	93.0	89.2	89.3	100.7	94.6	90.1	87.3	64.6	68.4	70.4	73.4	124.4	115.6	95.5	106.1
	対前期増減率%	4.5	4.5	4.1	0.1	8.9	6.1	4.8	3.1	3.1	5.9	2.9	4.3	1.9	7.1	17.4	11.1

* 生産・出荷・在庫率は3か月平均（3か月平均比）、在庫は期末（期末比）

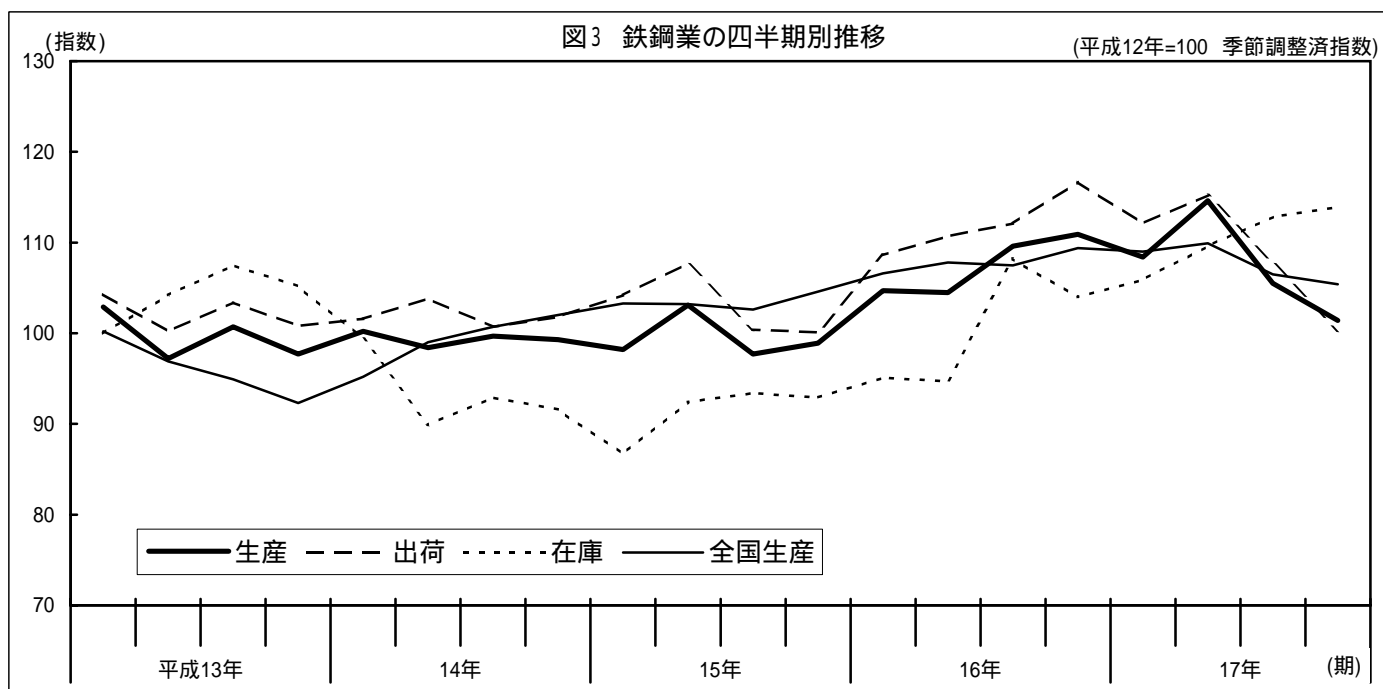
* 公益事業、機械工業は参考系列（P85 業種分類参照）

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<鉄鋼業>

- 生産、出荷とも3年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、107.1で前年比0.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で低下しました。

品目別にみると、普通鋼鋼帯や普通鋼鋼管などが減少し、普通鋼鋼板などが増加しました。

また、全国の鉄鋼業の生産指数(原指数)は、107.5で前年比0.5%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、108.3で前年比3.3%低下し、3年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で低下しました。

品目別にみると、普通鋼鋼帯や普通鋼鋼管などが減少し、普通鋼鋼板などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、111.3で前年末比10.3%上昇し、3年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で上昇しました。

品目別にみると、普通鋼鋼管やめっき鋼材などが増加し、普通鋼鋼帯などが減少しました。

表5 鉄鋼業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		16年							17年						
		1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4		
生産	指数	107.4	107.1	108.4	114.6	105.5	101.4	107.4	107.1	108.4	114.6	105.5	101.4		
	対前年(期)増減率%	7.9	0.3	2.3	5.7	7.9	3.9	7.9	0.3	2.3	5.7	7.9	3.9		
出荷	指数	112.0	108.3	112.1	115.2	107.8	100.3	112.0	108.3	112.1	115.2	107.8	100.3		
	対前年(期)増減率%	8.6	3.3	3.9	2.8	6.4	7.0	8.6	3.3	3.9	2.8	6.4	7.0		
在庫	指数	100.9	111.3	105.9	109.6	112.8	113.9	100.9	111.3	105.9	109.6	112.8	113.9		
	対前年(期)増減率%	12.2	10.3	1.8	3.5	2.9	1.0	12.2	10.3	1.8	3.5	2.9	1.0		

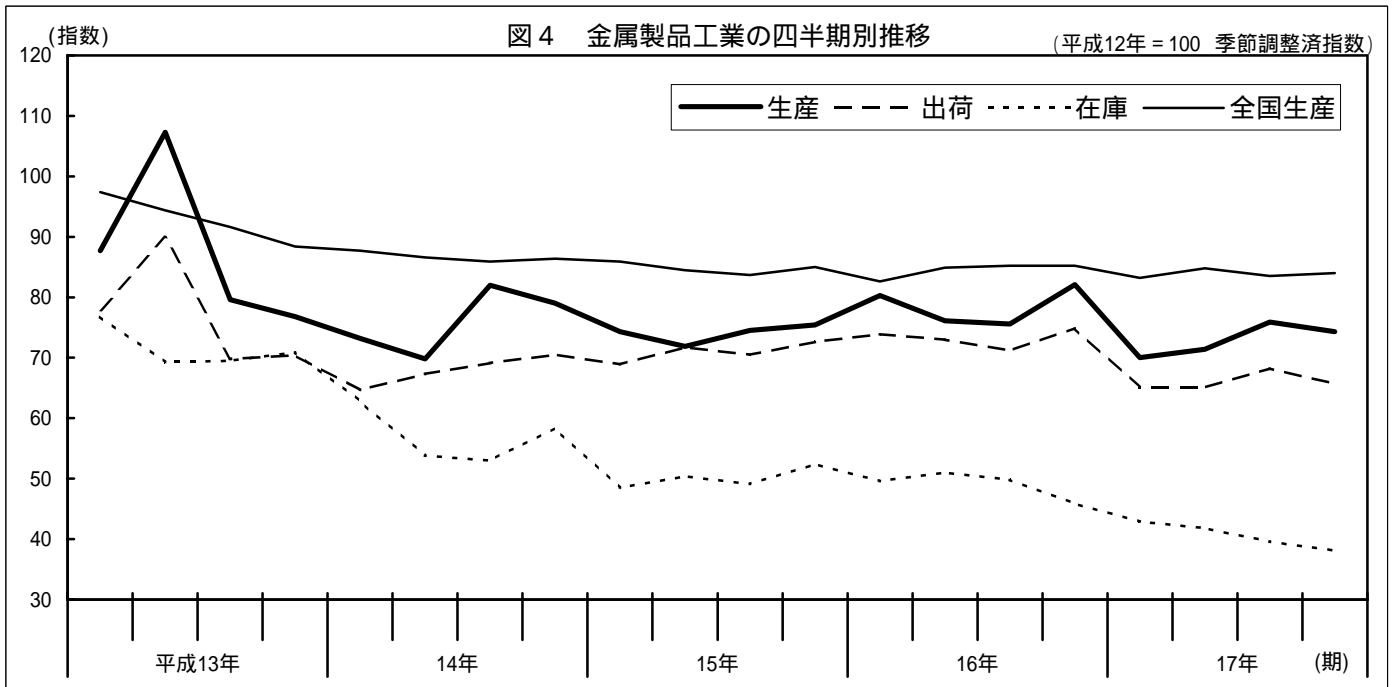
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	普通鋼鋼板、鋼半製品など
	減	普通鋼鋼帯、普通鋼鋼管、特殊鋼冷間仕上鋼材など
出荷	増	普通鋼鋼板、特殊鋼熱間圧延鋼材など
	減	普通鋼鋼帯、普通鋼鋼管、普通鋼冷間仕上鋼材など
在庫	増	普通鋼鋼管、めっき鋼材、特殊鋼熱間圧延鋼材など
	減	普通鋼鋼帯、鋳鋼品など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 金属製品工業 >

- 生産は2年ぶりの低下、出荷は3年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、72.5で前年比7.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比14.7%低下、2期は同2.0%上昇、3期は同6.3%上昇、4期は同2.1%低下しました。
 品目別にみると、橋りょうやガス機器などが減少し、超硬チップなどが増加しました。
 また、全国の金属製品工業の生産指数(原指数)は、83.6で前年比1.1%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、65.8で前年比10.2%低下し、3年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、1期は前期比13.1%低下、2期は同0.0%で横ばい、3期は同4.8%上昇、4期は同3.7%低下しました。
 品目別にみると、ガス機器や橋りょうなどが減少し、飲料用アルミ缶などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、37.8で前年末比16.2%低下し、9年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、食缶やガス機器などが減少し、飲料用アルミ缶などが増加しました。

表6 金属製品工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		16年		17年			
生産	指数	78.6	72.5	70.0	71.4	75.9	74.3
	対前年(期)増減率%	7.5	7.8	14.7	2.0	6.3	2.1
出荷	指数	73.3	65.8	65.1	65.1	68.2	65.7
	対前年(期)増減率%	3.8	10.2	13.1	0.0	4.8	3.7
在庫	指数	45.1	37.8	42.9	41.8	39.6	38.1
	対前年(期)増減率%	9.1	16.2	6.5	2.6	5.3	3.8

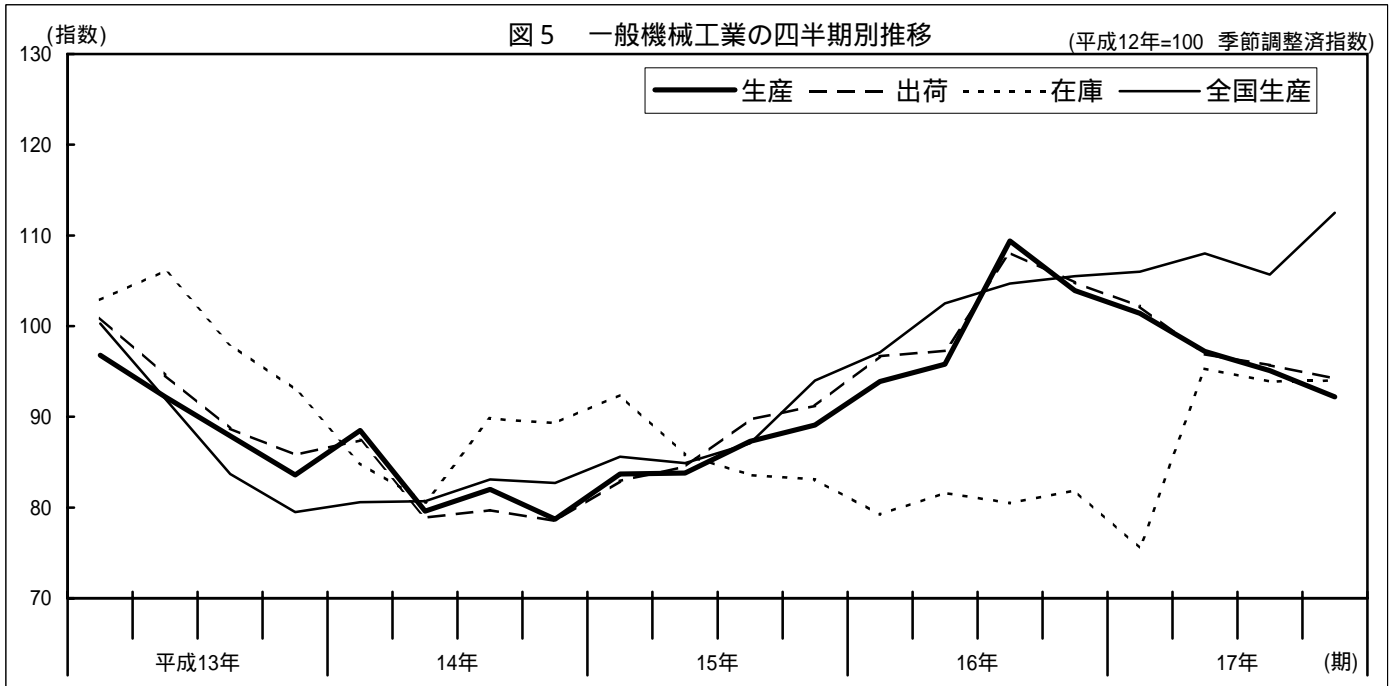
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	超硬チップ、飲料用アルミ缶など
	減	橋りょう、ガス機器、食缶など
出荷	増	飲料用アルミ缶、超硬チップなど
	減	ガス機器、橋りょう、食缶など
在庫	増	飲料用アルミ缶、ドラム缶
	減	食缶、ガス機器、超硬チップなど

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

<一般機械工業>

- 生産、出荷とも3年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、96.1で前年比4.5%低下し、3年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、印刷機械やデジタル・カラー複写機などが減少し、超硬工具などが増加しました。
 また、全国の一般機械工業の生産指数(原指数)は、107.7で前年比5.2%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、97.1で前年比4.4%低下し、3年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、デジタル・カラー複写機や印刷機械が減少し、超硬工具などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、98.7で前年末比15.2%上昇し、6年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期末比7.8%低下、期は同26.2%上昇、期は同1.5%低下、期は同0.1%上昇しました。
 品目別にみると、はん用内燃機関や掘さく機械などが増加し、超硬工具などが減少しました。

表7 一般機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

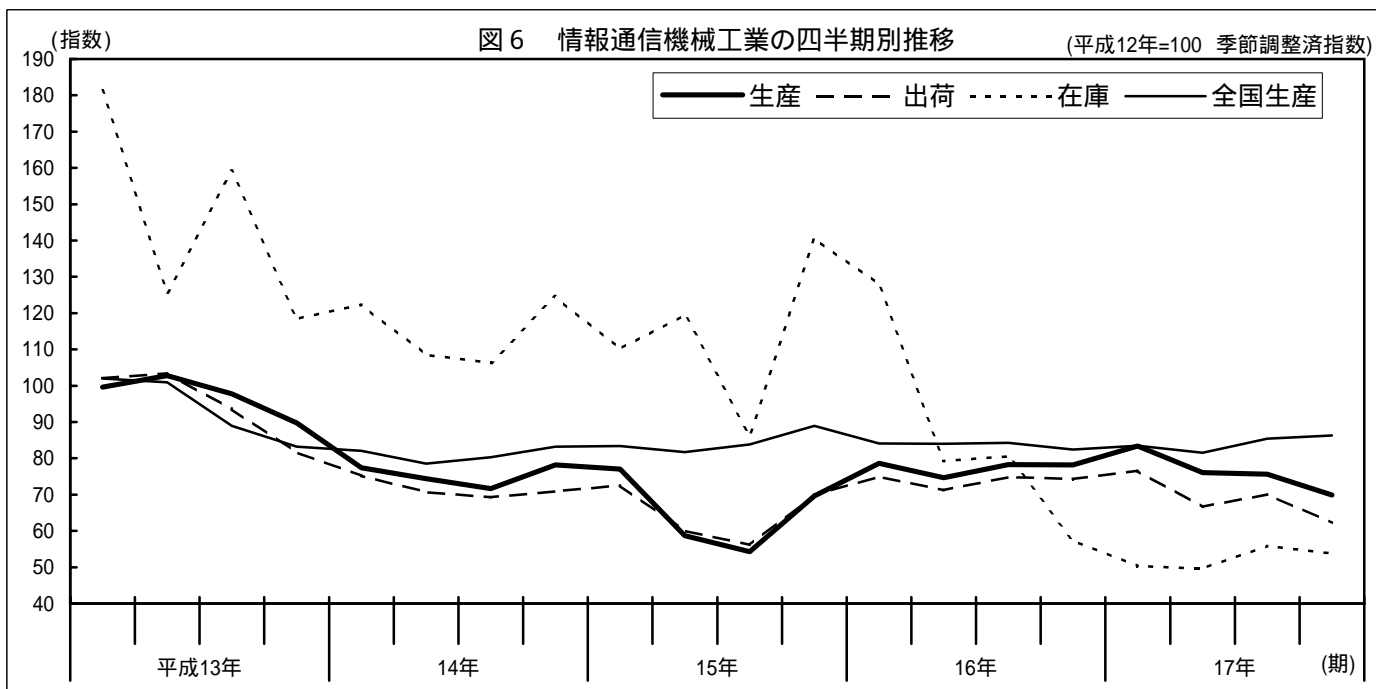
		16年		17年				上昇又は低下に寄与した品目	
		指数	対前年(期)増減率%	1	2	3	4		
生産	指数	100.6	96.1	101.4	97.2	95.1	92.2	増 超硬工具、圧延機械など 減 印刷機械、デジタル・カラー複写機、フラットパネルディスプレイ製造装置など	
	対前年(期)増減率%	16.7	4.5	2.4	4.1	2.2	3.0		
出荷	指数	101.6	97.1	102.2	96.9	95.7	94.2	増 超硬工具、蒸気タービン部品など 減 デジタル・カラー複写機、印刷機械、フラットパネルディスプレイ製造装置など	
	対前年(期)増減率%	16.5	4.4	2.5	5.2	1.2	1.6		
在庫	指数	85.7	98.7	75.5	95.3	93.9	94.0	増 はん用内燃機関、掘さく機械、マシニングセンタなど 減 超硬工具、ポンプなど	
	対前年(期)増減率%	0.0	15.2	7.8	26.2	1.5	0.1		

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 情報通信機械工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、74.7で前年比4.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、入出力装置やパーソナルコンピュータなどが減少し、外部記憶装置などが増加しました。
 また、全国の情報通信機械工業の生産指数(原指数)は、83.8で前年比0.2%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、67.6で前年比9.1%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期は前期比3.1%上昇、 期は同13.1%低下、 期は同5.3%上昇、
 期は同11.3%低下しました。
 品目別にみると、入出力装置やパーソナルコンピュータなどが減少し、外部記憶装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、43.5で前年末比9.2%低下し、2年連続して低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期末比で低下しました。
 品目別にみると、液晶テレビやコードレスホンなどが減少し、ビデオカメラなどが増加しました。

表8 情報通信機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		16年		17年									
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%	指数					
生産	指数	78.5	18.0	74.7	4.8	83.4	6.6	76.1	8.8	75.6	0.7	69.9	7.5
	対前年(期)増減率%												
出荷	指数	74.4	13.9	67.6	9.1	76.6	3.1	66.6	13.1	70.1	5.3	62.2	11.3
	対前年(期)増減率%												
在庫	指数	47.9	58.1	43.5	9.2	50.3	12.4	49.6	1.4	55.9	12.7	53.8	3.8
	対前年(期)増減率%												

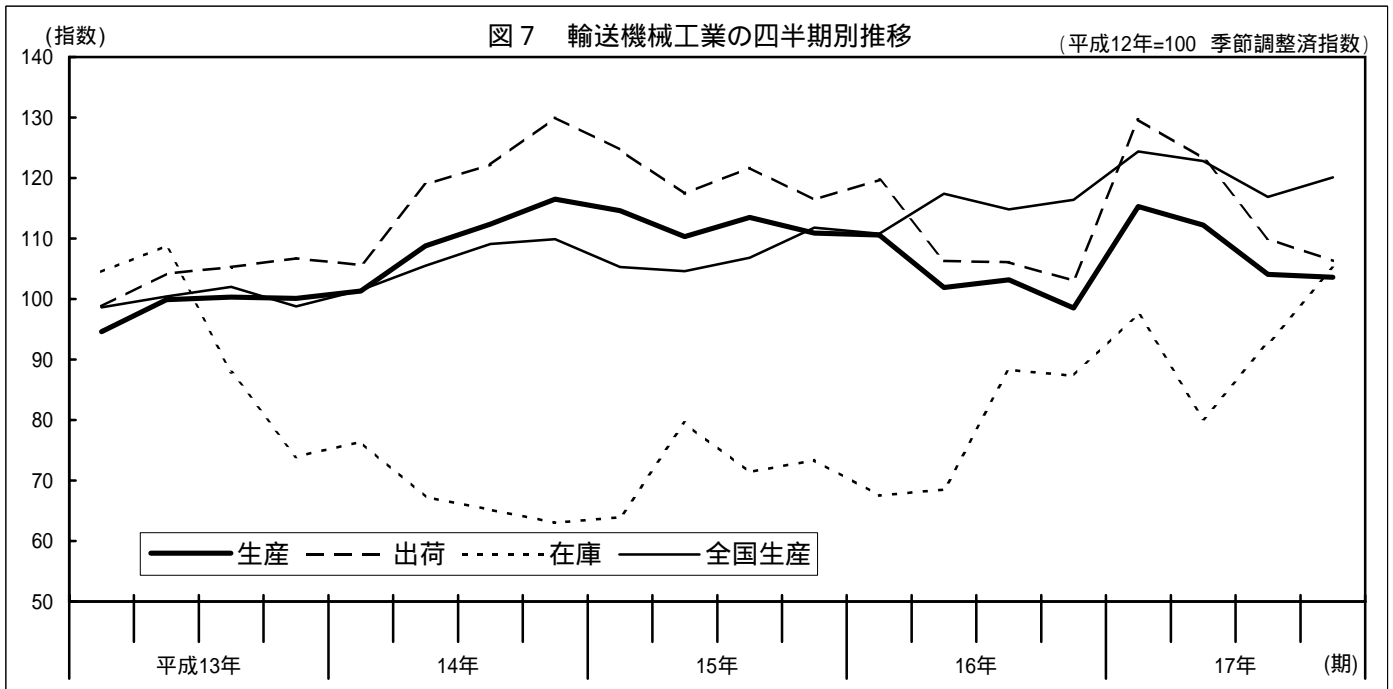
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	外部記憶装置、ミッドレンジコンピュータなど
	減	入出力装置、パーソナルコンピュータ、はん用コンピュータなど
出荷	増	外部記憶装置、ミッドレンジコンピュータなど
	減	入出力装置、パーソナルコンピュータ、はん用コンピュータなど
在庫	増	ビデオカメラ、ビデオテープレコーダ
	減	液晶テレビ、コードレスホン

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 輸送機械工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、108.3で前年比4.4%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、小型乗用車や特装ボデーなどが増加し、懸架制動装置部品などが減少しました。
 また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、120.7で前年比4.9%上昇し、4年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、117.1で前年比7.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で低下しました。
 品目別にみると、小型乗用車や特装ボデーなどが増加し、普通乗用車などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、127.2で前年末比25.7%上昇し、3年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期末比で上昇しました。
 品目別にみると、小型トラックや普通トラックが増加し、自転車などが減少しました。

表9 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		16年		17年									
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%	指数					
生産	指数	103.7	7.7	108.3	4.4	115.3	17.1	112.2	2.7	104.1	7.2	103.6	0.5
	対前年(期)増減率%												
出荷	指数	108.9	9.3	117.1	7.5	129.7	25.9	123.3	4.9	110.0	10.8	106.3	3.4
	対前年(期)増減率%												
在庫	指数	101.2	23.3	127.2	25.7	97.6	11.8	80.2	17.8	92.7	15.6	105.1	13.4
	対前年(期)増減率%												

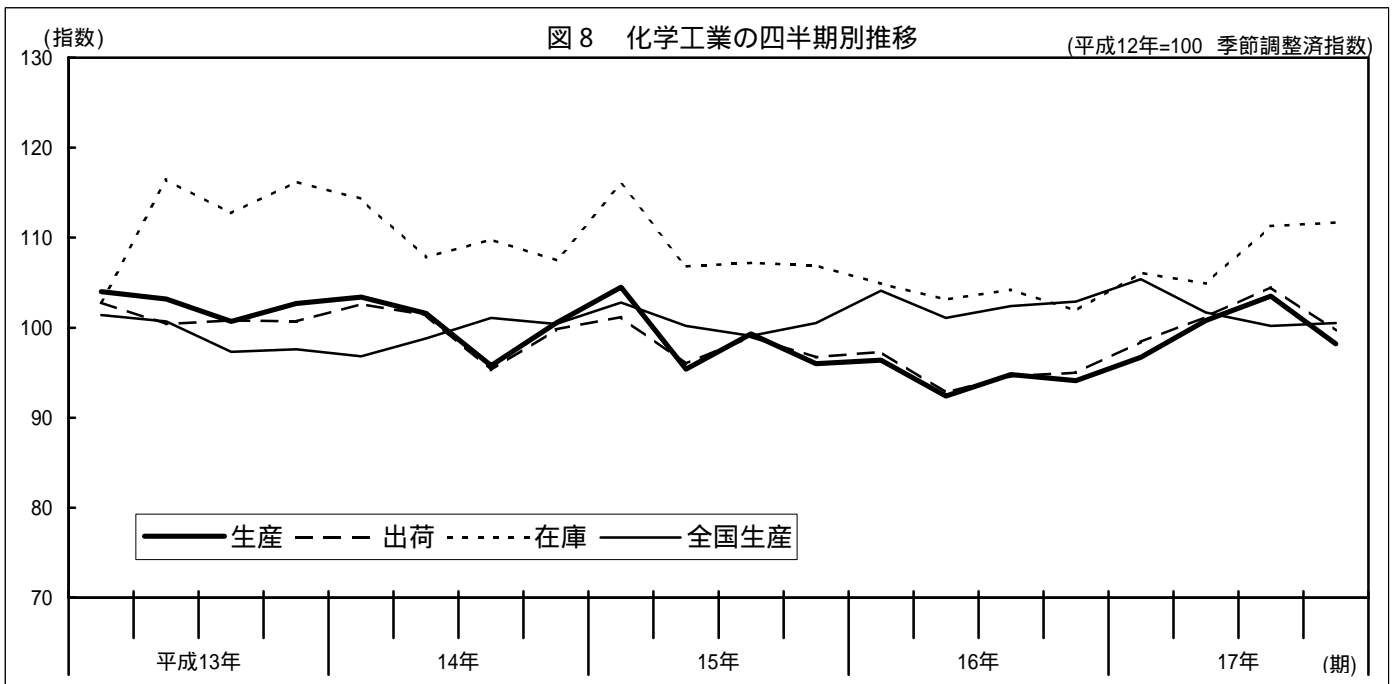
* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	小型乗用車、特装ボデー、ショベルトラックなど
	減	懸架制動装置部品、普通乗用車など
出荷	増	小型乗用車、特装ボデー、鋼船など
	減	普通乗用車、懸架制動装置部品など
在庫	増	小型トラック、普通トラック
	減	自転車、けん引車など

< 化学工業 >

- 生産、出荷とも4年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、99.4で前年比5.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、医薬品や化粧品などが増加し、白黒フィルムなどが減少しました。
 また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、101.7で前年比1.2%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、100.6で前年比6.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、医薬品や化粧品などが増加し、カラー印画紙などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、105.0で前年末比8.9%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、 期を除いて各期とも前期末比で上昇しました。
 品目別にみると、合成ゴムや合成洗剤などが増加し、白黒フィルムなどが減少しました。

表 1 0 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		16年		17年									
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%	指数					
生産	指数	94.4	4.4	99.4	5.3	96.7	2.8	100.8	4.2	103.5	2.7	98.2	5.1
	対前年(期)増減率%												
出荷	指数	94.9	3.3	100.6	6.0	98.4	3.6	101.2	2.8	104.5	3.3	99.7	4.6
	対前年(期)増減率%												
在庫	指数	96.4	4.5	105.0	8.9	106.1	4.1	104.9	1.1	111.3	6.1	111.7	0.4
	対前年(期)増減率%												

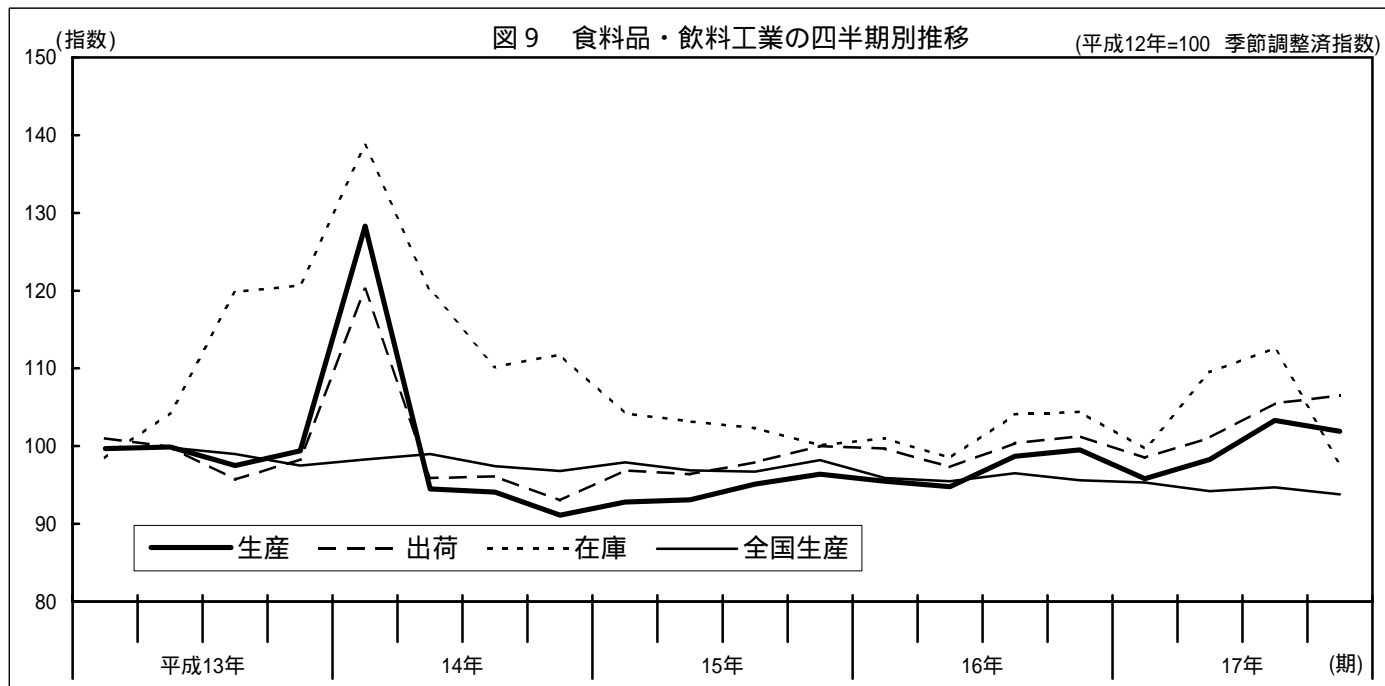
上昇又は低下に寄与した品目		
生産	増	医薬品、化粧品、合成洗剤など
	減	白黒フィルム、カラー印画紙など
出荷	増	医薬品、化粧品、エチレングリコールエーテルなど
	減	カラー印画紙、白黒フィルムなど
在庫	増	合成ゴム、合成洗剤、ポリエチレンなど
	減	白黒フィルム、触媒など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

< 食料品・飲料工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、100.0で前年比3.0%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期比3.7%低下、期は同2.6%上昇、期も同5.1%上昇、期は同1.4%低下しました。
 品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やグルタミン酸ソーダなどが増加し、生めん類などが減少しました。
 また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、94.3で前年比1.9%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、103.1で前年比3.6%上昇し、2年連続して上昇しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期を除いて各期とも前期比で上昇しました。
 品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)やグルタミン酸ソーダなどが増加し、生めん類などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、86.1で前年末比7.6%低下し、2年ぶりに低下しました。
 四半期別(季節調整済指数)にみると、期は前期末比4.5%低下、期は同9.8%上昇、期も同2.8%上昇、期は同13.2%低下しました。
 品目別にみると、混合植物油脂や小麦粉などが減少し、炭酸飲料などが増加しました。

表 1 1 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		16年		17年				上昇又は低下に寄与した品目						
		指数	増減率%	指数	増減率%	指数	増減率%			指数	増減率%			
生産	指数	97.1	3.1	100.0	3.0	95.8	3.7	98.3	2.6	103.3	5.1	101.9	1.4	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)、グルタミン酸ソーダ、牛乳など 減 生めん類、チョコレートなど
	対前年(期)増減率%													
出荷	指数	99.5	1.9	103.1	3.6	98.5	2.8	101.1	2.6	105.5	4.4	106.5	0.9	増 清涼飲料(炭酸飲料除く)、グルタミン酸ソーダ、牛乳など 減 生めん類、炭酸飲料など
	対前年(期)増減率%													
在庫	指数	93.2	8.4	86.1	7.6	99.7	4.5	109.5	9.8	112.6	2.8	97.7	13.2	増 炭酸飲料、練乳・粉乳など 減 混合植物油脂、小麦粉、精製糖など
	対前年(期)増減率%													

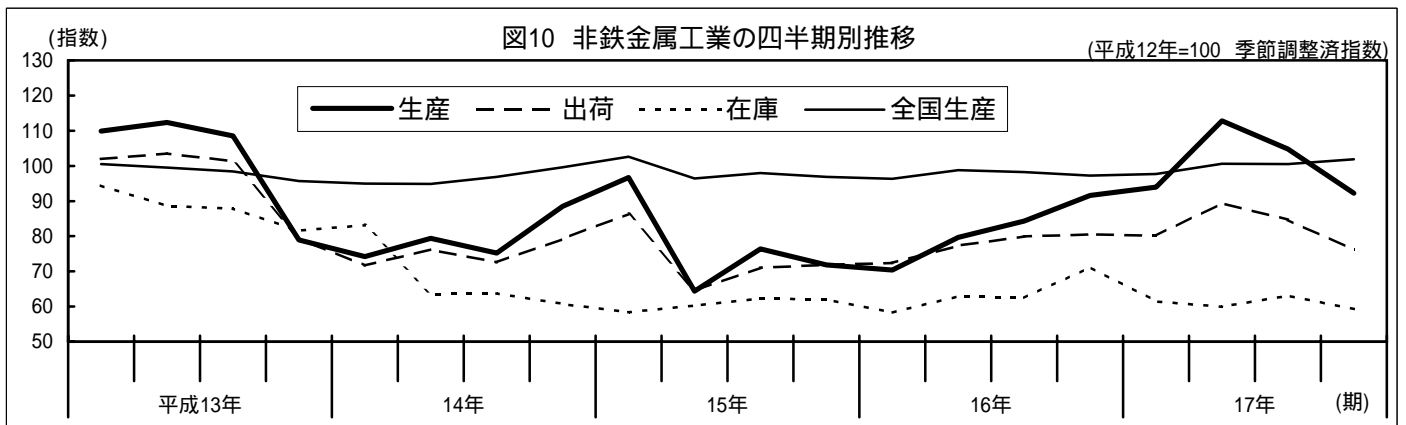
* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数、在庫は年(期)末指数

* 品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

< 非鉄金属工業 >

- 生産、出荷とも2年連続の上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、100.5で前年比23.6%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、光ファイバや銅電線などが増加し、通信用電線・ケーブルなどが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、99.9で前年比2.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

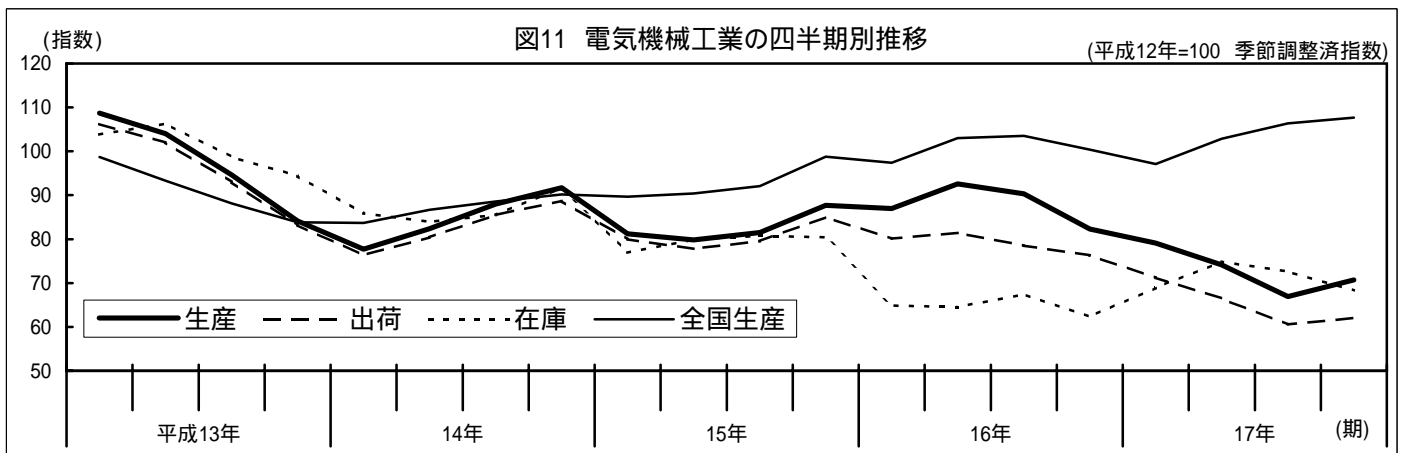
出荷指数(原指数)は、82.3で前年比6.2%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、光ファイバが増加し、銅電線などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、64.0で前年末比14.0%低下し、3年ぶりに低下しました。
品目別にみると、銅電線や伸銅製品が減少し、通信用電線・ケーブルなどが増加しました。

< 電気機械工業 >

- 生産は2年ぶりの低下、出荷は5年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、72.3で前年比17.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、電気測定器や超音波応用装置などが減少し、開閉制御装置などが増加しました。
また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、103.0で前年比2.0%上昇し、3年連続して上昇しました。

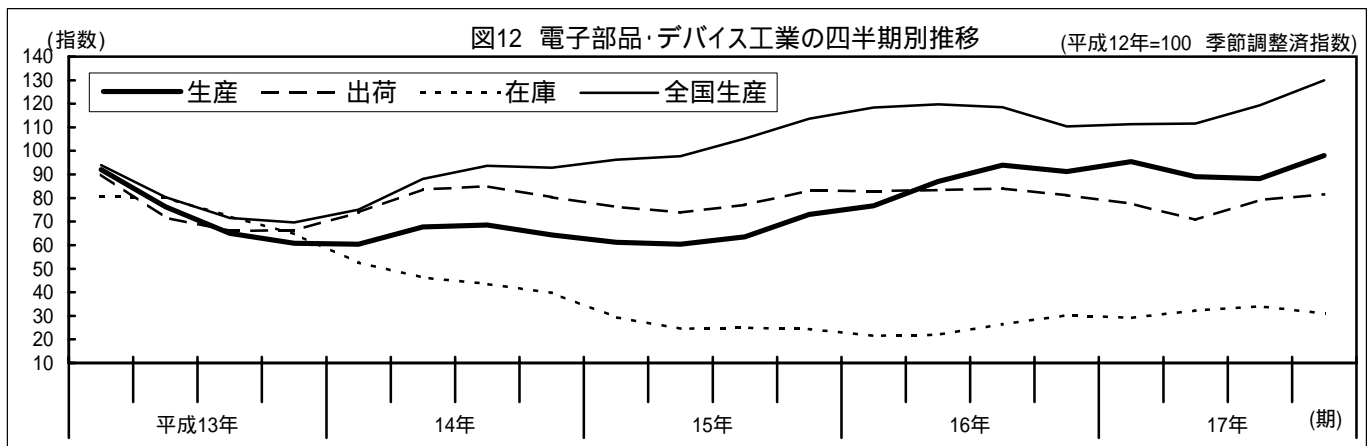
<出荷>

出荷指数(原指数)は、64.6で前年比18.2%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、電気測定器や超音波応用装置などが減少し、開閉制御装置などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、69.4で前年末比9.3%上昇し、4年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、鉛蓄電池や一般用白熱灯器具などが増加し、電気冷蔵庫などが減少しました。

< 電子部品・デバイス工業 > - 生産は2年連続の上昇、出荷は2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、92.4で前年比5.7%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(CCD)やモス型半導体集積回路(論理素子)などが増加し、光電変換素子などが減少しました。
 また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、117.8で前年比0.8%上昇し、4年連続して上昇しました。

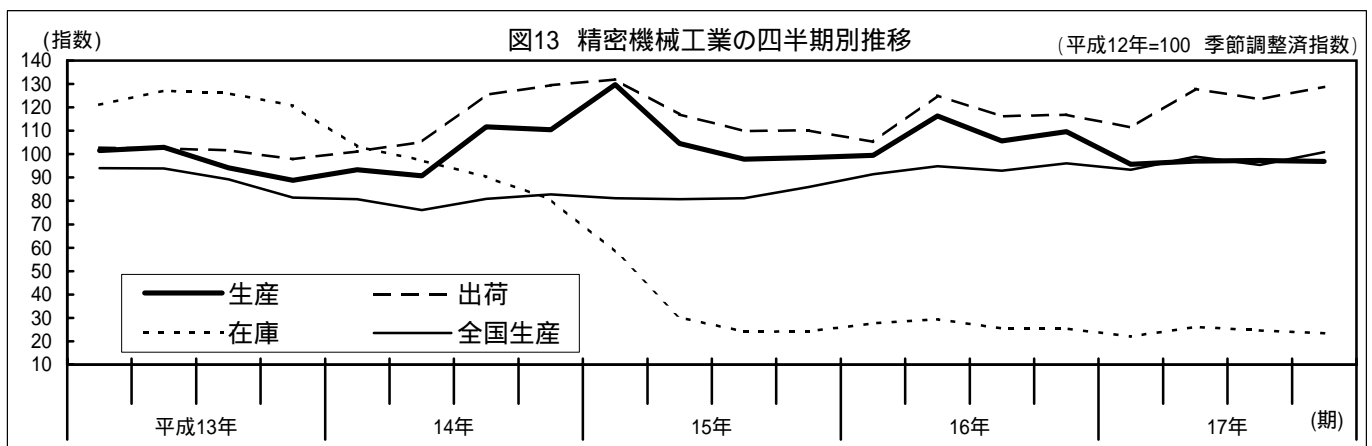
<出荷>

出荷指数(原指数)は、77.2で前年比6.9%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、モス型半導体集積回路(論理素子)やモス型半導体集積回路(記憶素子)などが減少し、コネクタなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、30.6で前年末比1.0%上昇し、2年連続して上昇しました。
 品目別にみると、トランジスタや光電変換素子などが増加し、モス型半導体集積回路(論理素子)などが減少しました。

< 精密機械工業 > - 生産は2年連続の低下、出荷は2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、96.0で前年比10.1%低下し、2年連続して低下しました。
 品目別にみると、測量機器や試験機などが減少し、工業用計重機などが増加しました。
 また、全国の精密機械工業の生産指数(同)は、96.9で前年比3.0%上昇し、3年連続して上昇しました。

<出荷>

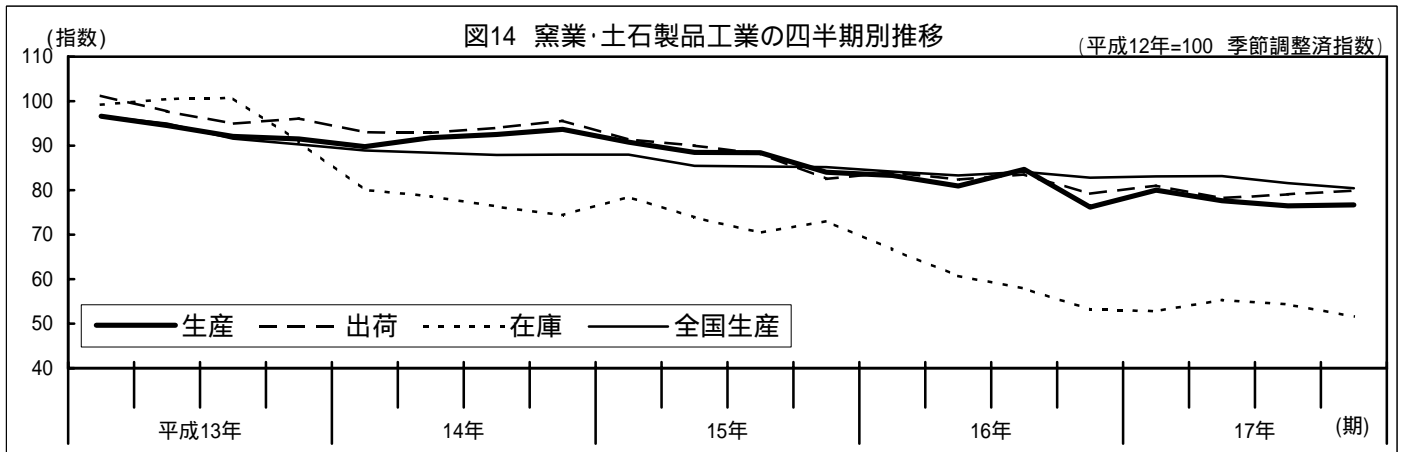
出荷指数(原指数)は、121.5で前年比5.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
 品目別にみると、試験機や精密測定機などが増加し、工業用長さ計などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、25.0で前年末比8.8%低下し、2年ぶりに低下しました。
 品目別にみると、測量機器や試験機などが減少し、工業用計重機などが増加しました。

< 窯業・土石製品工業 >

- 生産、出荷とも5年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、77.5で前年比4.6%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、複層ガラスなどが増加しました。
また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、81.9で前年比2.2%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

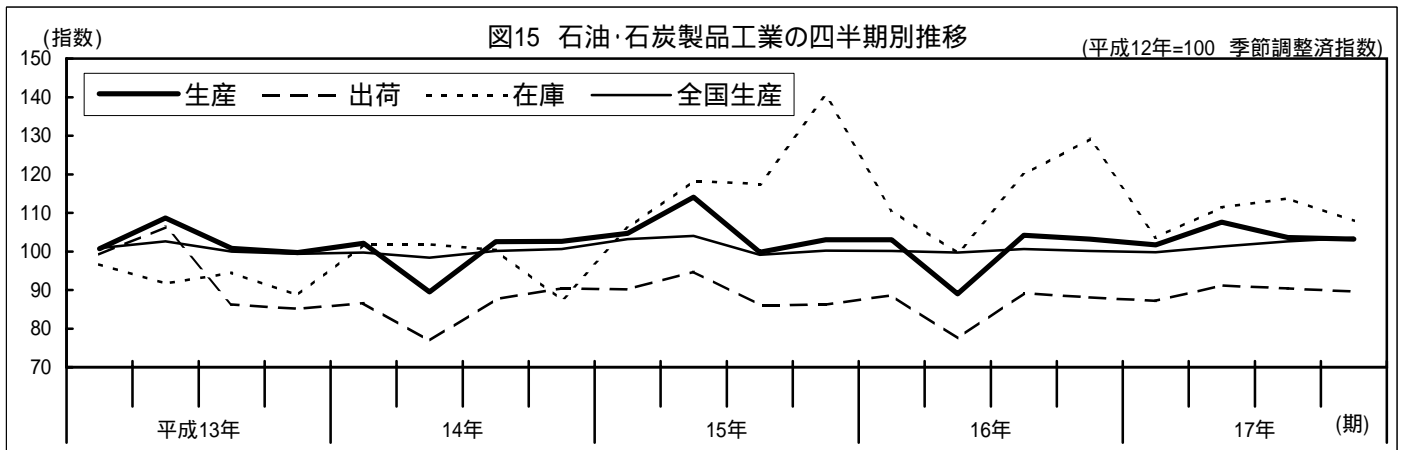
出荷指数(原指数)は、79.2で前年比3.6%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、安全ガラスやガラス基礎製品などが減少し、生コンクリートなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、50.5で前年末比3.6%低下し、5年連続して低下しました。
品目別にみると、ガラス製容器類や板ガラスなどが減少し、複層ガラスなどが増加しました。

< 石油・石炭製品工業 >

- 生産、出荷とも2年ぶりの上昇 -



<生産>

生産指数(原指数)は、103.7で前年比3.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、ガソリンやC重油などが増加し、A重油などが減少しました。
また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、101.6で前年比1.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

<出荷>

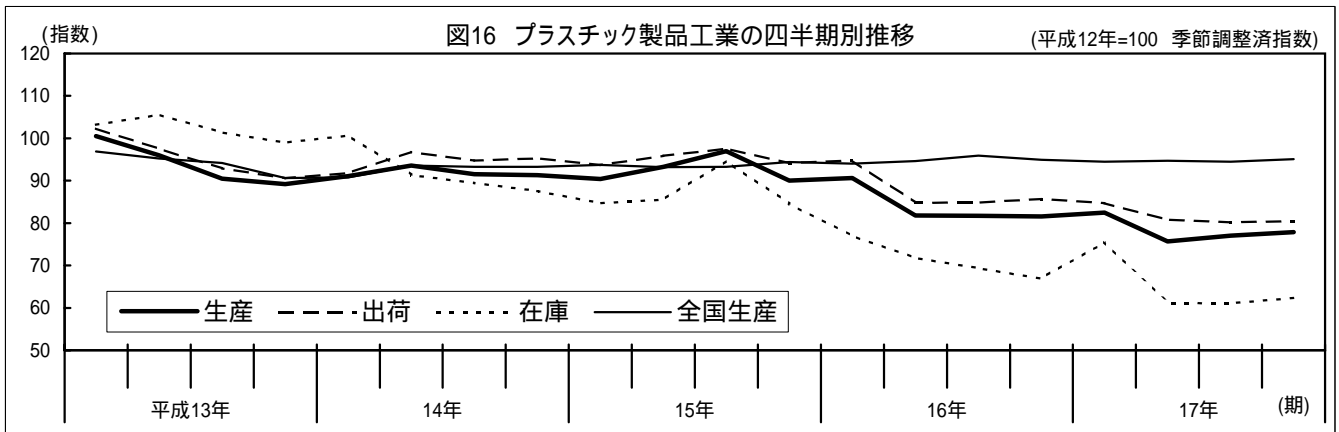
出荷指数(原指数)は、89.3で前年比3.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、C重油やガソリンなどが増加し、A重油などが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、106.7で前年末比10.2%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、灯油やガソリンなどが減少し、C重油などが増加しました。

<プラスチック製品工業>

- 生産、出荷とも2年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、77.9で前年比7.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、94.5で前年比0.5%低下し、3年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、81.2で前年比7.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、プラスチック製容器などが増加しました。

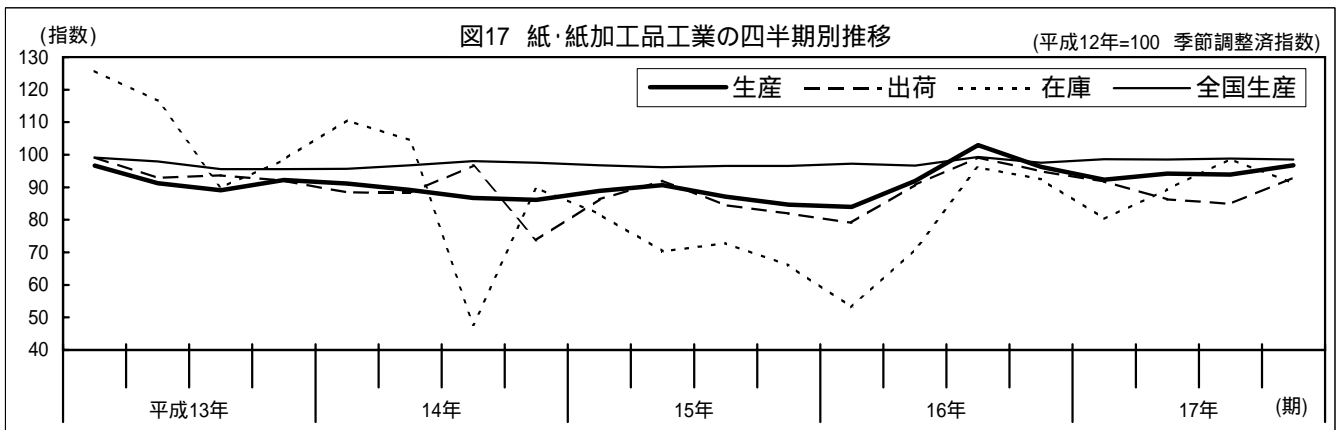
<在庫>

在庫指数(原指数)は、61.3で前年末比8.2%低下し、5年連続して低下しました。

品目別にみると、プラスチック製機械器具部品や発泡プラスチック製品などが減少し、強化プラスチック製品などが増加しました。

<紙・紙加工品工業>

- 生産は2年連続の上昇、出荷は2年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、94.1で前年比0.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、段ボールシートが増加し、衛生用紙が減少しました。

また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、98.4で前年比0.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、89.1で前年比2.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、段ボールシートや衛生用紙が減少しました。

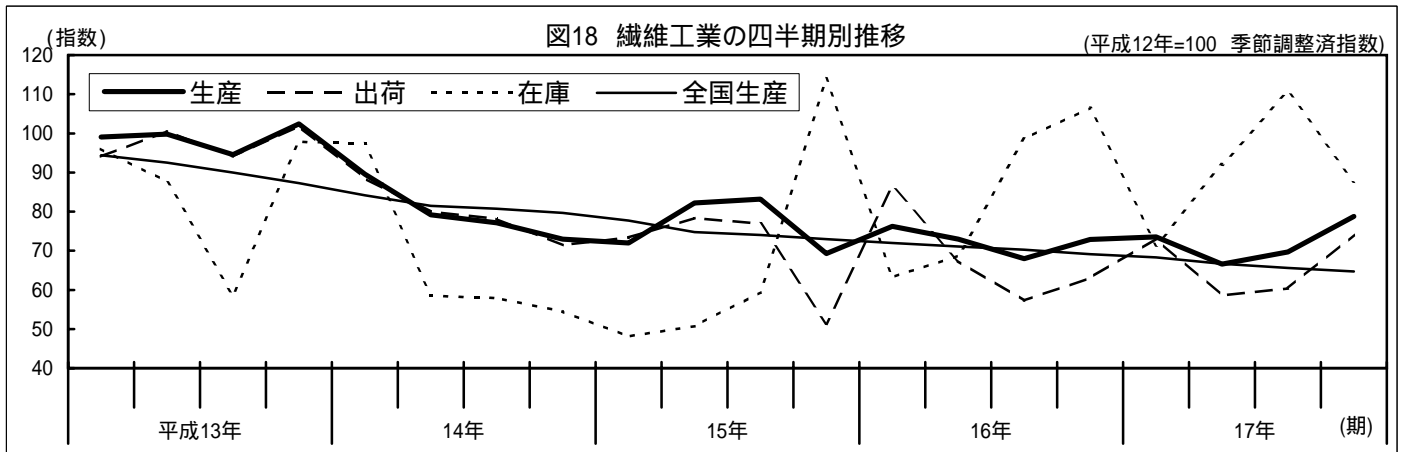
<在庫>

在庫指数(原指数)は、82.0で前年末比1.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。

< 繊維工業 >

- 生産は6年連続の低下、出荷は9年連続の低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、71.9で前年比0.8%低下し、6年連続して低下しました。
品目別にみると、ふとんや毛糸などが減少し、ニット・織物製外衣などが増加しました。
また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、66.2で前年比6.4%低下し、平成元年以降17年連続して低下しました。

<出荷>

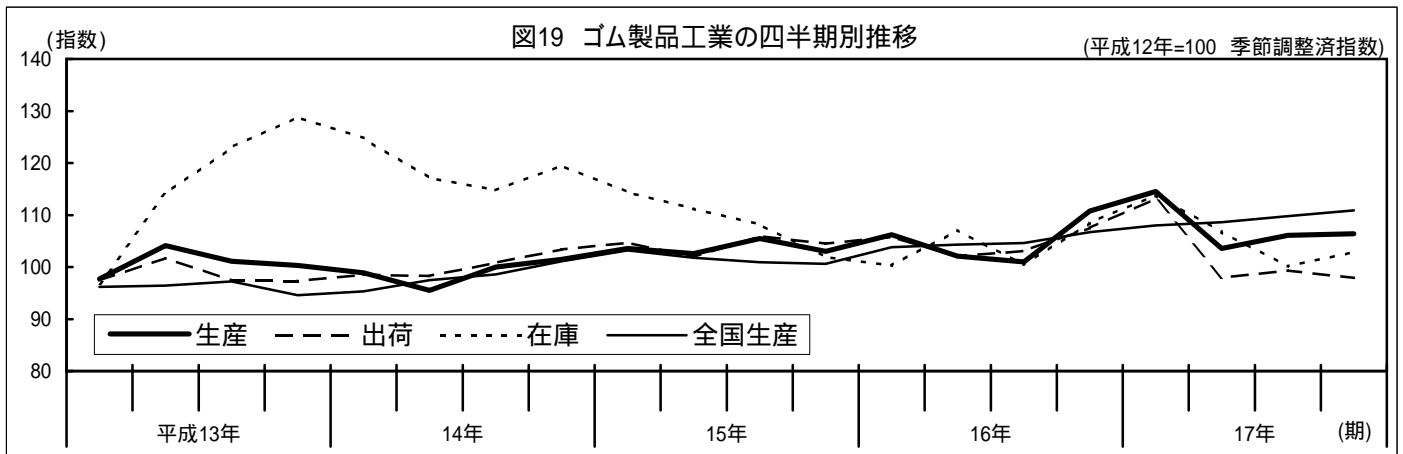
出荷指数(原指数)は、66.4で前年比3.6%低下し、9年連続して低下しました。
品目別にみると、ふとんや毛糸などが減少し、ニット・織物製外衣が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、116.6で前年末比4.7%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、ニット・織物製外衣が減少し、合成繊維などが増加しました。

< ゴム製品工業 >

- 生産は3年連続の上昇、出荷は4年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、107.5で前年比2.4%上昇し、3年連続して上昇しました。
品目別にみると、ゴムホースやゴムベルトが増加し、工業用ゴム製品などが減少しました。
また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、109.2で前年比3.9%上昇し、4年連続して上昇しました。

<出荷>

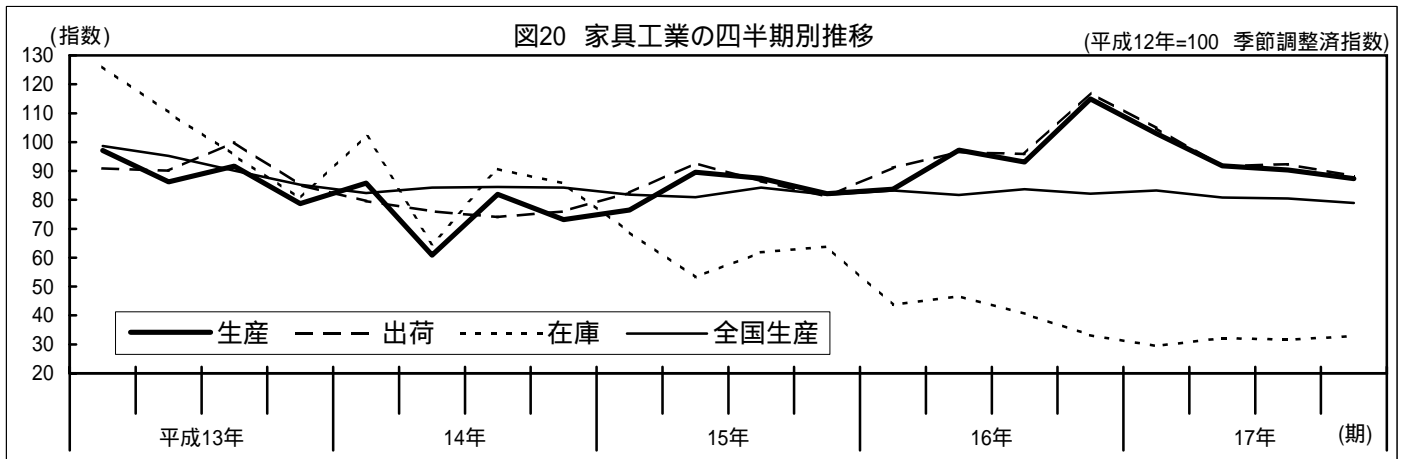
出荷指数(原指数)は、102.1で前年比2.5%低下し、4年ぶりに低下しました。
品目別にみると、工業用ゴム製品や医療・衛生用ゴム製品が減少し、ゴムホースなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、100.2で前年末比5.4%低下し、2年ぶりに低下しました。
品目別にみると、ゴムホースやゴムベルトが減少し、工業用ゴム製品などが増加しました。

<家具工業>

- 生産、出荷とも3年ぶりの低下 -



<生産>

生産指数(原指数)は、93.5で前年比3.5%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、その他の金属製家具やシステムキッチンなどが減少し、流し・ガス・調理台などが増加しました。また、全国の家具工業の生産指数(同)は、80.6で前年比2.8%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、94.2で前年比6.0%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、その他の金属製家具やシステムキッチンなどが減少し、金属製間仕切りなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、36.0で前年末比2.3%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、金属製棚・保管庫類や金属製引出箱が増加し、金属製間仕切りなどが減少しました。

3 財別の出荷動向

- 最終需要財は2年ぶりに低下、生産財は4年連続して上昇 -

平成17年の出荷動向を特殊分類による財別で見ると、**最終需要財出荷指数**(原指数)は、90.6で前年比1.1%低下し、2年ぶりに低下しました。

また、**生産財出荷指数**(原指数)は、97.2で前年比0.3%上昇し、4年連続して上昇しました。これらの財を四半期別(季節調整済指数)にみると、最終需要財は1期は前期比4.9%上昇、2期は同2.8%低下、3期も同5.3%低下、4期も同4.1%低下しました。生産財は1期は前期比1.9%上昇、2期は同0.5%低下、3期は同1.7%上昇、4期も同1.0%上昇しました。

(1) 最終需要財

ア 投資財(資本財・建設財)

資本財出荷指数(原指数)は、89.6で前年比6.1%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、デジタル・カラー複写機や電気測定器などが減少し、外部記憶装置などが増加しました。

建設財出荷指数(原指数)は、70.4で前年比4.1%低下し、8年連続して低下しました。

品目別にみると、橋りょうや普通鋼鋼管などが減少し、生コンクリートなどが増加しました。

イ 消費財(耐久消費財・非耐久消費財)

耐久消費財出荷指数(原指数)は、87.6で前年比1.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、小型乗用車や液晶テレビなどが増加し、普通乗用車などが減少しました。

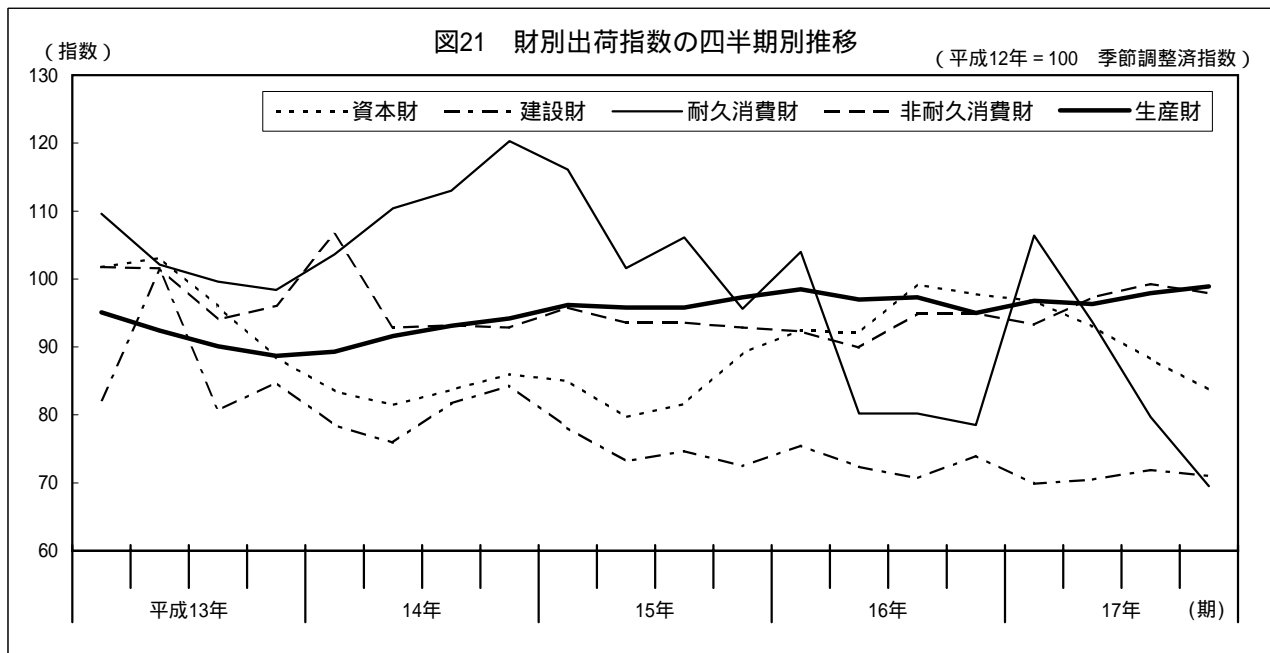
非耐久消費財出荷指数(原指数)は、96.9で前年比4.1%上昇し、5年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や医薬品などが増加し、生めん類などが減少しました。

(2) 生産財

品目別にみると、特装ボデーや超硬工具などが増加し、懸架制動装置部品などが減少しました。

(P21表12、表13参照)



(特殊分類についてはP85、P87表14参照)

表 1 2

財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(平成12年 = 100)

財	年・期	14年	15年	16年	17年	16年 17年				
						16年	17年			
製造工業	指数	92.7	92.6	93.3	93.0	93.0	97.1	94.5	91.9	90.0
	対前年(期)増減率%	3.3	0.1	0.8	0.3	1.2	4.4	2.7	2.8	2.1
最終需要財	指数	93.1	90.8	91.6	90.6	92.0	96.5	93.8	88.8	85.2
	対前年(期)増減率%	5.1	2.5	0.9	1.1	0.8	4.9	2.8	5.3	4.1
投資財	指数	83.1	82.9	93.1	87.6	95.0	93.9	90.6	86.5	82.3
	対前年(期)増減率%	13.6	0.2	12.3	5.9	1.0	1.2	3.5	4.5	4.9
資本財	指数	83.6	83.9	95.4	89.6	97.8	96.8	93.0	88.2	83.7
	対前年(期)増減率%	14.1	0.4	13.7	6.1	1.4	1.0	3.9	5.2	5.1
建設財	指数	79.5	74.3	73.4	70.4	74.0	69.9	70.5	71.9	71.0
	対前年(期)増減率%	8.2	6.5	1.2	4.1	4.7	5.5	0.9	2.0	1.3
消費財	指数	102.3	98.1	90.3	93.3	89.7	98.6	96.8	91.1	88.3
	対前年(期)増減率%	2.5	4.1	8.0	3.3	0.3	9.9	1.8	5.9	3.1
耐久消費財	指数	111.9	104.9	86.0	87.6	78.5	106.4	93.7	79.7	69.5
	対前年(期)増減率%	9.3	6.3	18.0	1.9	2.1	35.5	11.9	14.9	12.8
非耐久消費財	指数	96.3	93.9	93.1	96.9	95.0	93.3	97.3	99.3	97.9
	対前年(期)増減率%	2.0	2.5	0.9	4.1	0.1	1.8	4.3	2.1	1.4
生産財	指数	92.0	96.3	96.9	97.2	95.0	96.8	96.3	97.9	98.9
	対前年(期)増減率%	0.5	4.7	0.6	0.3	2.4	1.9	0.5	1.7	1.0

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 1 3

財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財	対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目		
			増	減	
上	非耐久消費財	4.1	0.86	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、医薬品、化粧品など
				減	生めん類、炭酸飲料など
昇	耐久消費財	1.9	0.23	増	小型乗用車、液晶テレビ、ビデオカメラなど
				減	普通乗用車、ガス機器など
低	生産財	0.3	0.11	増	特装ボデー、超硬工具、エチレングリコールエーテルなど
				減	懸架制動装置部品、モス型半導体集積回路(論理素子)など
下	資本財	6.1	1.75	増	外部記憶装置、光ファイバなど
				減	デジタル・カラー複写機、電気測定器、入出力装置など
	建設財	4.1	0.11	増	生コンクリート、エレベータなど
				減	橋りょう、普通鋼鋼管、スチール・ステンレス製建具など